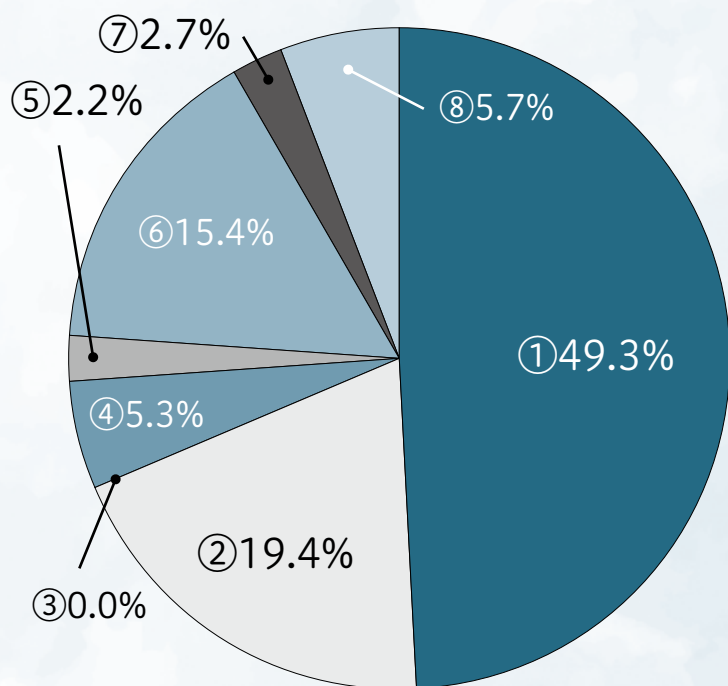


8月は佐賀県同和

人権に関わる問題はどれも決して他人事ではありません。一人ひとりが同和問題を正しく知り、自分のこととして考え、学び、自ら行動していくことが大切です。

Q あなたは、同和問題の解決について、どうお考えですか。



- ①国民全体で考えるべきである
- ②あまり騒がず、そっとしておくのがよい
- ③自分には関係ない
- ④分散して住むようにすればよい
- ⑤関心がない
- ⑥わからない
- ⑦その他
- ⑧無回答



令和5年6月「人権・同和問題に関する多久市民意識調査」より

この設問では、49.3%が「国民全体で考えるべきである」の回答でした。しかし、「あまり騒がず、そっとしておくのがよい」、「関心がない」、「わからない」の回答は合わせて37%となっています。

同和問題は決して他人ごとではありません。正しい知識や理解が不足していると、不正確な情報を用ひのみにして、人権侵害につながる発言や偏見に基づいた行動をとってしまう可能性があります。

差別の加害者にも被害者にもならないために、日頃から正しい知識を学んでおくことが大切です。



えせ同和行為にご注意ください

同和問題の解決をめざす団体であるかのように名乗り、物品の購入や寄付金、広告の掲載などを強要する行為のことをいいます。このような行為は、同和地区・被差別部落出身者などに対する偏見や差別意識を助長する大きな要因となっています。

★対応方法は？

- ①相手が誰か、要求内容は何かを明確にする
- ②激しい口調であっても、その場しのぎの安易な妥協はせず、はっきりと断る
- ③暴力的言動があれば、すぐに警察に通報する